

# 地域活性化活動助成事業活動概要

防府市立桑山中学校

## 1 はじめに

本校は、防府市の中心部に位置し、全校生徒655名、23学級の市内では最も規模の大きい学校である。

生徒は、落ち着いて学校生活を送っており、学習や部活動、学校行事等にも大変意欲的に取り組んでいる。特に、運動会や文化祭においては、生徒が主体的に企画・運営に携わることから、当日は活気あるものになるとともに、行事終了後は生徒の達成感に満ちたすてきな笑顔を見ることができる。

保護者や地域も学校に関心が高く、PTA活動等にも大変協力的である。コミュニティ・スクールの取組も充実してきており、保護者だけでなく地域の方にも協力をいただきながら、「花飾りプロジェクト」「読み聞かせ」等の活動を行っている。



## 2 活動の概要

### (1) 「花飾りプロジェクト」の実施

「花飾りプロジェクト」とは、週に1回、保護者や地域の方が来校し、校舎内（玄関や各教室等）に飾る花を花瓶に生ける活動のことである。

ボランティア活動であるものの、活動の輪が広がり、現在では多くの方にこの活動に参加していただいている。

参加者の多くは、「学校や生徒のためになっていることがうれしい」「参加者同志の交流が楽しい」と、この活動に「生きがい」と「充実感」を感じている。

また、きれいな花を行けた花瓶を各教室に配布する際に、生徒に感謝の言葉をかけられたり、真剣に授業に取り組む生徒の姿を見られたりすることで、参加者は元気をもらっているようである。



## (2)「七夕飾り」の設置

本校では毎年、7月7日の七夕にあわせ、玄関、生徒昇降口に笹が設置される。笹も保護者や地域の方が準備して下さる。その笹に、生徒一人ひとりの願いが書かれた短冊が取り付けられ、立派な七夕飾りへと変わる。

短冊には、部活動や学習面に関係のある目標が多く書かれていたが、「コロナが早く落ち着きますように」など、社会に目を向けた願い事もあった。それを目にした地域の方が大変喜ばれていた。学校のために行っていたいただいている活動だが、逆に地域の方を元気づけている活動であることに気づいた。



## (3)「クリスマスツリー」の設置

今年は、花飾りプロジェクトのみなさんにご提案、ご協力いただき、生徒昇降口と正面玄関にクリスマスツリーを設置した。

クリスマスツリーといえば「もみの木」。そのもみの木もご提供いただいた。教室に生けられた花もクリスマスバージョンになっており、学校はクリスマスの雰囲気にも包まれた。

保護者や地域の方は、学校や生徒のためになることを考え、提案し、実行することに喜びを感じている。



## 3 おわりに

校舎内のあちらこちらに、生徒に負けじと、花瓶に生けられた美しい花が元気一杯に咲き誇っている。しかし、それ以上に、輝きを放っているのは「花飾りプロジェクト」に参加している皆さんの笑顔である。

その笑顔から生徒も教職員も元気をいただいている。生徒が落ち着いて学校生活を送れているのも、美しい花と香りに包まれた素晴らしい環境が整備されているからであると考えます。

この活動を継続し、学校、地域をもっと元気にしていきたい。

